協議事項12

学校給食について

学校給食について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和６年６月11日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長　　　高田　純

令和６年６月
健 康 教 育 課

学校給食費の公会計移行の進捗状況

1. 学校給食費の公会計化の目的

学校給食費の徴収・管理業務が、学校の教職員にとって負担となっているため、学校給食費の公会計化を行い、徴収・管理を市（教育委員会事務局）が実施することにより教職員の事務負担を軽減する。あわせて、学校給食費の支払いにかかる保護者の利便性の向上を図る。

2. 公会計移行後の現状と今後のスケジュール

（1）小学校・特別支援学校

・令和6年4月　公会計に移行（対象者　約7万８千人）
・食数管理から学校給食費の収納管理まで一元化できる新システムを導入
・学校向けに「学校給食費管理マニュアル」を作成するとともにシステム操作研修を実施
・令和6年6月　保護者に給食費納入通知書を配付、6月末から支払い開始
　＜参考＞：口座振替登録者 96％（5月末時点）

◆導入当初の課題

・学校給食費システムの不具合が想定以上に発生
　欠食情報の一部未反映、食材発注数の誤差、一部データの取込エラー等
・学校における操作ミスに伴う追加作業
　児童生徒情報の重複登録、教職員情報の追加修正、アレルギー等による欠食情報の登録漏れなど

◆課題への対応策

・システム会社との連携による迅速な不具合解消
・システム操作については、システム会社のコールセンターへ案内
・運用の変更　職員が複数校兼務する場合の給食申込方法の簡素化等
・「学校給食費管理マニュアル」の更新

（2）中学校

・中学校は全員喫食の移行に伴い順次公会計化（対象者　約3万7千人）
・令和6年5月　9月に全員喫食に移行する中央区（6校）および 10 月に移行する親子調理対象校（4校）の保護者に給食申込・口座振替登録の手続きを案内
・令和6年7月　給食費システム運用開始（対象校10校）、システム研修の実施
・以後、順次全員喫食制に移行する中学校について、開始の約4か月前に保護者・教職員に案内のうえ手続きを進める。
・小学校の公会計移行時の課題を踏まえ、運用の変更やマニュアルの改訂を行うとともに、中学校の教職員向けに「学校給食費システム」の操作研修を実施するなど、スムーズな移行ができるよう努めていく。

3. 事務局における執行体制

・健康教育課長以下7名（係長1名・担当者2名・会計年度任用職員3名）
・業務の内容に応じて人材派遣社員3名を配置（令和6年度は通年）

令和６年６月
健康教育課

中学校給食全員喫食移行の進捗状況

1. 進捗状況について

開始年月	対象	内容
2024 年9月 （民間調理施設方式）	中央区6校	・食缶給食の運用、アレルギー対応、公会計について学校訪問研修を開催（4～5 月）。 ・保護者へアレルギー対応希望調査・公会計申込手続きを案内（6月中締め切り）。 ・7月に給食費システムの研修を開催予定。
2024 年 10 月 （親子調理方式）	中央区1校 須磨区3校	
2025 年1月 （給食センター方式）	須磨区8校 垂水区 11 校	・6～8月に学校訪問研修を開催予定。 ・建設工事は順調に進捗中、12月に開所式を予定。
2025 年4月 （民間調理施設方式）	長田区6校 西区 13 校	・7～11月に学校訪問研修を開催予定。
2026 年1月 （民間調理施設方式・給食センター方式）	東灘区7校	・2025年1学期に学校訪問研修を開催予定。
	灘区5校 兵庫区5校 北区 16 校	

2. 運用上の課題

(1)喫食時間の確保

・食育推進の観点から、「少なくとも 20 分以上の「喫食時間」を確保することを基本とする」こととしている。（令和6年1月「全員喫食移行後の運用について」）

・令和6年度 2 学期から全員喫食を開始する 10 校は、配膳・喫食時間を含めて30～40 分を確保する予定。20 分以上の「喫食時間」について確認が必要。

〇令和6年度における給食時間（82 校） 令和6年4月時点

35 分：2校　30 分：1校　25 分：23 校　20 分：56 校

〇中央区6校・親子4校は全員喫食開始時に給食時間を変更予定（10 校）

40 分：2校　35 分：6校　30 分：2校

(2)アレルギーへの対応等

・毎日の献立について、対象生徒への個別対応に対する教職員の負担（チェック表提出に係る保護者とのやりとり、日々の献立の確認等）

(3)食数の管理

・学校給食費システムによる食数の管理（学校行事の登録、牛乳選択・アレルギーによる欠食登録等）